

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	熊野町立熊野第四小学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「気持ちのよいあいさつをしよう～いつでも どこでも だれにでも～」 学級活動（1）話し合い活動を通して		

◆ 児童の実態及び取組を通して育てたい児童像

児童の実態	取組を通して育てたい児童像
<p>○1学期末の児童アンケートでは81.3%の児童が「進んであいさつできる」と回答したが、学校長との正門でのあいさつと、他の場所での教職員とのあいさつに差が見られた。</p> <p>○指示されたことはしようとする(受け身)だが、自分からしてみたい(主体的)ということは少ない。</p>	<p>○気持ちのよいあいさつをする児童(いつでも どこでも だれにでも)</p> <p>○学校や学級の課題を見付け、解決しようとする児童。</p>



◆ 取組の具体的内容

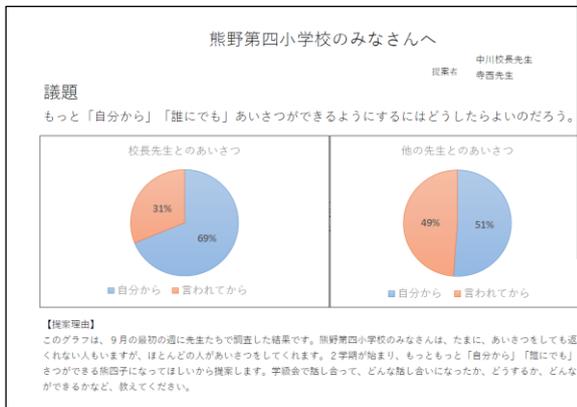
取組を実施する意図及びねらい

生徒指導部から、全クラスへ学級会の議題「もっと『自分から』『誰にでも』あいさつができるようにするにはどうしたらよいのだろう。」を提案し、各クラスで話し合うことで、「受け身のあいさつ」から「主体的なあいさつ」へ変えていく。

取組の流れ・創意工夫・児童の変容等

1 4月の生活朝会で重点目標「気持ちのよいあいさつをしよう～いつでもどこでも だれにでも」を伝えた。レベル7のあいさつ表や、あいさつの振り返りカードの配布を行った。毎月、自分のあいさつについて振り返りをした。

2 2学期はじめに生徒指導部で「正門(学校長)」と「他の場所(教員)」のあいさつの様子について調査した。その結果を、各学級の学級会の議題として提案した。



【年間重点目標】  
気持ちのよいあいさつをしよう  
～いつでも どこでも だれにでも～

めざせあいさつ名人!!!  
レベル1 大きな声で  
レベル2 相手の目を見て  
レベル3 笑顔で  
レベル4 立ち止まって  
レベル5 いつでも  
レベル6 どこでも  
レベル7 だれにでも

月	今月の目標・大きな声で(人に聞こえる声で)
5月	今月の目標: 大きな声で(人に聞こえる声で)
6月	今月の目標: 相手の目を見て
7月	今月の目標: 笑顔で

1学期の振り返り

その後各学級で学級会を行い、学級であいさつ運動を行った。

3学期は「各クラスのあいさつ運動」の経験を生かし、「縦割り班のあいさつ運動」へ展開していく。各学級のあいさつ運動での振り返りを縦割り班のあいさつ運動へ生かしていく。

大きな声で相手の目を見てあいさつをしよう。



めあての「大きな声で」「相手の目を見て」あいさつができたよ。

◆ 成果(○)と課題及び今後に向けて(●)

- 1学期末の児童アンケートで肯定的評価をした児童は81.3%だったが、あいさつ運動について話し合い、実行した後の2学期末アンケートでは87.1%にあがった。学級会で話し合いの成果が出てきている。
- 朝のあいさつについては、主体性が高まってきているが、その他の時間や廊下等でのあいさつについては、まだまだ課題が見られる。今後も、指導と評価を継続し、「あいさつの花が咲き乱れる熊四小」にしていきたい。